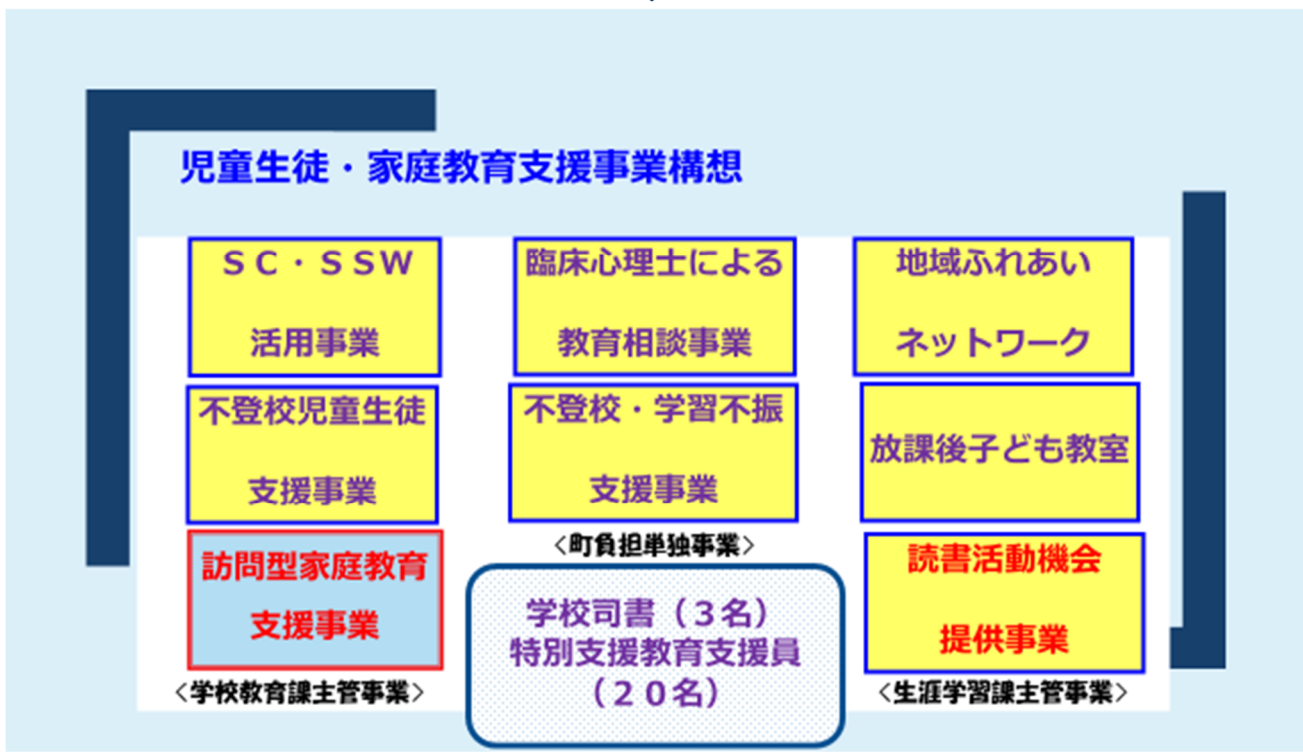
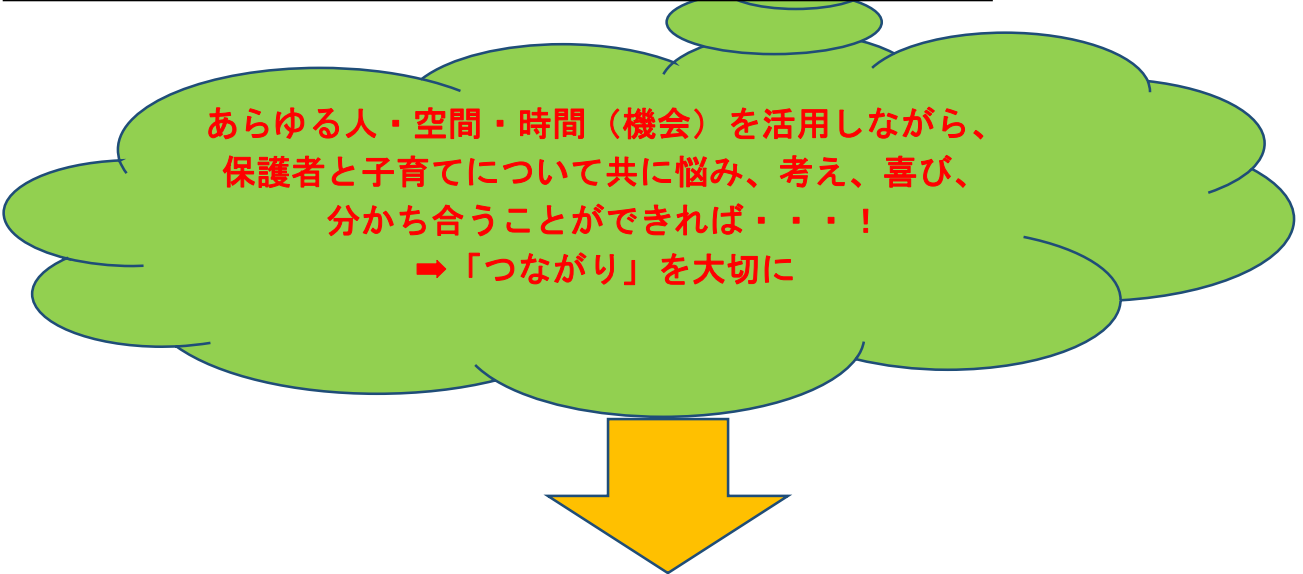


那智勝浦町 家庭教育応援チーム 『ほっとほーむ』
 ～これまでの気づきから3年目の取組へ～



- ターゲット型中心の活動（2年間）からの気づき
- ① 要応援支援家庭への「家庭訪問」にこだわってしまった！
 - ② 困っているのは・・・？
 - ③ 子どもたちとつながることもできるのでは・・・？
 - ④ いろいろな支援をしている事業があるぞ・・・！



『ほっとほ一む』の今年度の活動

「つなぐ」「ともに喜び・考える」支援を目指して



(1) 構成 訪問支援員 (10名)・SSW・事務局

(2) 活動

○【ベルト型訪問】

◇小学校1年生(6校)・中学校1年生(4校) 約200家庭

◇小学校2年生、中学校2年生 ⇒ 地区別の訪問

○【ターゲット型訪問】

◇学校・保護者からの要請、再訪問

◇継続的な訪問

○学童保育訪問(他事業との連携)

読書の機会の提供

(本を届ける活動や読み聞かせ)

○定例会(月1回)第2水曜日

活動のふりかえり、支援計画、今後の活動計画立案、研修など

○「ほっとサロン」(計画中)

➡ 保護者同士の交流の場・地域とつながる場 楽しく・気楽に・・・!



(3) 成果

○ベルト型訪問は、保護者に安心感を持ってもらうことに効果があった。

○学校との連携が継続訪問や相談活動につながった。(情報管理の一元化)

○SC・SSWや福祉課との連携が進んだ。

(4) 課題

○家庭訪問支援のさらなる充実

○保護者の学びの場や交流の機会となる事業の定期的な開催

○就学前の家庭教育支援(福祉部局)と義務教育修了後の支援との連携

○家庭教育支援に関わる関係機関や事業・地域とのつながりの推進

「児童生徒支援」「保護者支援」「学校支援」

⇒ みんなで、できることから一歩ずつ